

## 成果の説明書

(氏名) 内山 知一	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>まず、感染症の蔓延を背景に各種制限が始まって以降、長期にわたるが、引き続き、教員免許プログラムで、時々の深刻度にあわせてさまざまな点検・修正を繰り返し、従来と同程度の環境の維持に努めた。その結果、周囲と連携しながら求められる方策を取り、種々の整備をすすめて受講生の不安の解消につなげることができた。たとえば、新入生以降の各段階でのオリエンテーションでの説明、指導案の検討も含む個別相談でのフォロー、履修カルテの受け付け・返却、個々の健康記録とリスクがある場所などの生活上の注意喚起・事例の共有、各種の制約を受けたルール・制度の変更などができた。また、時が経つにつれ、徐々に従来の生活に戻るところと不可逆に変更されたところなど細かな違いも生じ、急な事態の生起も含め浮き沈みもあったが、適宜、プログラムを支えるメンバーと協力・連絡・相談し、適切な措置がとれた。ただし、免許取得には、課程の最終段階で講義外の場合である実習に赴き、事前・事後の準備・振り返りなども含め見識・スキルを磨かなければならない。そのため、起こりうるあらゆる場面を想定し、感染防止のための制約に配慮しつつ、講義などでそこで生かせる力の涵養に努めた。そのほか、複数の委員に従事し、円滑な講義の開講・各種支援などに貢献できた。</p> <p>次に、これまでの検討を土台とし、研究面では、新たに優れた事例・プログラムなどの資料を獲得し、それらをさまざまな観点でとらえることで、効果のある方法とはどのような特徴があるのかを吟味できた。特に、授業の形態と質の異なる問いの組みあわせに留意し、参加者にとって意義があり深い経験となるには、どのような点が前提となり、有効なのか、特徴ある方法をいかに組みあわせれば相互の強みを伸ばし、弱みを補うことができるかを検討できた。これらを踏まえ、以後、種々の新しい観点も取り入れ、より幅広く資料などを見ることで、テーマをさらに深める予定である。</p>	
<p>2 その他の事項</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>これまで感染症予防でさまざまな方策・制度の更新などに取り組み、ある程度、新しい状況にあわせる形で免許取得までの道のりを整備できた。ただし、徐々に、元の生活に戻りつつある点もあり、これ以降は、この転換の以前と以後で、元に立ち返るもの、戻らないものは何かを見極め、その過程で受講者に過度の負担をかけないように留意できればと思う。たとえば、各種オリエンテーションや個別の相談・支援、模擬授業も含む講義、免許取得までの過程での健康記録・維持のあり方などを、現場でのさまざまな留意事項の変遷も踏まえ、それぞれに点検し、適切な措置を心がけたい。また、研究面では、これまでの蓄積で得たものを新たな観点などで選別し、感染症前後の変更も踏まえ、有効な方法の検討をすすめる予定である。特に、さまざまな問いが効果を持つ前提条件や方法の組みあわせ方の相違で結果がいかに違うのかをより幅広く精緻に比較し、そこで得られたものの吟味を重ねたい。</p>	